

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
HIYOKO STUDY松ヶ丘教室		2025年 6月 23日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		利用人数と職員数、活動内容に考慮して配置を行っています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	基準の人員は確保しています。	専門的な課題提供と特性への配慮のため人員の補充は必要です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		玄関の階段に手すりを付けることが難しいので、階段を昇降する際は必ず付き添い、安全に移動を行っています。	スロープの設置を検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	基本的な掃除に加えて、消毒を行い環境衛生に努めています。掃除器具等もメンテナンスや買い替えを行い清潔に保てるよう衛生管理を行っています。	照明、壁紙や敷きマットを交換できるように検討していきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		クールダウンできる部屋を準備して職員が付き添える環境にあります。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		朝礼やケース会議に職員が参加して振り返りと目標設定に努めている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎年実施し業務改善に努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎年実施し業務改善に努めています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月研修を行っています。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		作成しHPで公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		アセスメントは行っており、課題分析のツールを十分に活用していきます。	課題分析について明確化していきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		お子様の最善の利益が提供できるように共通理解しています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画策定の際にはケース会を開催し共有した内容を計画に取り入れています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			アセスメントツールを活用します
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員全員で立案し月の計画に組み入れています。専門的な知識を取り入れた支援内容も提供しています。	専門的な支援を取り入れた療育を展開していきます。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		内容が重複しないように設定しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		計画の中に活動内容に個別と集団の内容をそれぞれ取り入れており支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		必ず行い役割や担当も決めてチームワークで進めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	共有事項はその日に共有し、振り返りや改善点についての検討は次の日の朝礼で行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録に残し行っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に1回以上は面談を行って計画の見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「余暇の提供」を主と提供しています。	「地域交流の機会の提供」を検討していきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		準備されたおやつの中で自分で選んだおやつを食べるなど（アレルギー以外）の工夫や活動の中でも意見を発表して認め合うグループワークを取り入れています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		利用児の主治医の把握や担任とかからの伝達、相談員が保護者との架け橋になり復しい事業所との情報共有など連携があります。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校からの情報伝達はある。担当者会議で学校担任より情報を共有されています。	学校の行事は頂くが、当事業所の行事予定などは提供していないため検討が必要です。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		担当者会議で情報共有あります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		その機会があれば担当者会議で情報共有します。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		公園や公共施設での交流になります。	希望を聞きながら検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や受け渡し時にその日の様子を伝達し出来たところや課題について共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			専門的な講師を招くなどの研修が開催できるよう検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		面談時に意向確認を行い、児童には活動終了後に気持ちの確認も行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		個別支援計画の更新時には内容説明と同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		電話、メール、送迎の際など相談に応じ、必要であれば自宅訪問や面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	親子で参加できるイベントは年に1回開催しています。	保護者様全員に情報が行き渡るように周知の方法を工夫します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		誠実に迅速に対応いたします。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		活動の様子は毎日ブログを更新しています。活動概要や行事は毎月「おたより」を通知しています。	連絡体制について定期的に発信することを検討します。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		十分注意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		記録に残る伝達方法（メールなど）の配慮を心掛けております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	4	1		町内会の地域性を把握して関りを工夫していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアル策定はできていますが、職員間で共有はできていますがご家族への周知はできていません。	ご家族への周知を実施する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		保護者様より確認しています。発作が起きた時の対応も共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		契約時に確認を行っております。アレルギーのあるものは提供しません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		計画通りに訓練を行っており、外出や安全配慮が必要な場合は日案を作り計画通り支援しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			ご家族への周知をしています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット事案をみんなで共有し検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		入職時の研修のほかに、法人から研修内容を伝達されたものを事業所内で開催し研修を開催している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			